『時　事　直　言』No.1830　2026 年 10 月 6 日

[HP] http://chokugen.com/
[FAX] 03-3956-1313　　[mail] info@chokugen.com
[X(旧 twitter)] t_masuda2019/　[instagram] t.masuda2026
[Youtube] 増田俊男チャンネル/



時事評論家 増田俊男

増田塾からのお知らせ

明日 10 月 7 日から今までの「本日の世界情勢の時間」で「増田俊男の政治力学入門講座」が始まります。政治に関心のある方、政治に携わっている方、日本を想う方は是非ともご参加下さい。
講義はシリーズで、毎週水曜日 5 週連続で 11 月 4 日までとなります。

第 1 講義　政治の神髄、本音と建て前
第 2 講義　政治哲学、政治形態、民主主義、共産主義
第 3 講義　世界政治の右翼化とリベラル後退
第 4 講義　トランプ政治登場の歴知的意義
第 5 講義　戦後から目覚める日本

アメリカの経済ファンダメンタルズやドル高、株高を見ているとアメリカが断末魔を迎えているなど誰にも思えない。しかしアメリカの財政の実態を、嘘をつかない数字で見れば、アメリカが潜在的財政破綻国家に陥っていることが証明される。
ドル特権、基軸通貨制のおかげで潜在破綻が顕在化しないで済んでいる。
ドル特権による米国債資金調達の優位性（率）をコンビニエンス・イールドと言い、2026 年 9 月まで 0.4-0.7%を保って来たが、9 月 24 日からマイナス圏に突入した。
インフレが沈下し、労働市場が安定しても米国債の利回りは上がり続けているのはドル特権喪失が原因である。財政破綻の顕在化を防ぐ為と中間選挙の為トランプとウォール街は株価上昇に専念している。
トランプの魂胆は、見せかけの好況で市場を煙に巻きながら破綻国家アメリカ救済の大胆な手を打とうとしている。何事にも表と裏があり、政策には本音と建て前がある。
毎日耳目に触れる情報に右往左往することなく、物事の本質をしっかりわきまえたうえで対応することが救いとなる。
投資家の皆様には場が開く前の「本日の株式指南」で儲けていただいています。
「知ると知らないでは雲泥の差」。
政治の神髄をしっかり身に着けて下さい。
必ずお役に立ちます。

★小冊子 Vol.161 は大好評発売中！
お申し込みは https://www.musrjec.com/ より

大好評発売中！増田俊男の小冊子 Vol.161
『アメリカが変わる、日本も変わる』
現在増田俊男の小冊子 Vol.161 は**大好評発売中**です。
内容は、**＊パックスアメリカーナ消滅　＊日本が閉じ込められていたビンの蓋が開いた　＊核の抑止力が AI に代わる時　＊アメリカの栄枯衰退　＊アメリカ最後の特権が消えつつあるなど**です。価格は、**1冊 5,800 円(送料別)**。詳しいご案内、お申込みについてはマスダ U.S. リサーチジャパン株式会社（FAX：03-3956-1313、HP：http://chokugen.com/ ）まで。

「時事直言」の文章及び文中記事の引用をご希望の方は、
事前にマスダ U.S.リサーチジャパン株式会社（FAX：03-3956-1313）までお知らせ下さい。